

第10章 今後の課題

都市交通の目標を実現するための今後の課題等を整理しました。

1 今後の課題

(1) 多様な交通ニーズへの対応

働き方やライフスタイルの変化が進んでおり、移動が時間的・空間的に多様化しているだけでなく、ICTの発展やネット通販の拡大などにより、必要な情報や物を移動することなく手に入れることが可能となることで、移動そのものが大きく変容しており、様々な交通ニーズへの対応が求められています。

さらに、大規模災害の懸念や自動運転技術等の技術革新により、従来の交通手段の位置づけが大きく変化するなど、不確実性も存在しており、柔軟な交通施策の検討と計画の見直しが求められています。

(2) 多様な主体の協働参画

地域の実情は多種多様であるため、持続可能な公共交通を実現するためには、当該地域住民の移動手段確保について責任を有する市町村が、交通事業者、交通管理者、道路管理者、県、NPO・地域の住民等の利用者と連携して、住民の日常生活を支える地域公共交通のあり方について検討し、総合的な公共交通計画を策定する必要があります。

県は、広域自治体としての立場で複数の市町村による協議が円滑に行われ、当該地域にとって最適な交通計画になるよう適切な調整を行う必要があります。

国は、地域の公共交通計画を策定する市町村に対し、情報提供や、法律上の特例措置、予算措置などにより総合的に支援していくことが求められます。

(3) 他施策との連携

日常生活や都市での活動に必要な諸機能がコンパクトにまとまり、公共交通の利便性の高い市街地を形成するための交通施策を推進するためには、関係する多様な分野や官民による関係者が一体となって取組を推進することが必要です。

このため、土地利用施策や市街地整備との連携、公益施設の配置計画との整合、公共施設整備との連携などを図りながら、交通施策を総合的に展開することが必要です。

2 計画の見直し

本計画は、今後の交通施策の進展や、社会経済情勢の変化を的確に把握しつつ、望ましい都市交通の実現をめざして、必要に応じて見直しを行います。



県土整備局都市部交通企画課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話(045)210-1111(代表)

かながわ交通計画ホームページ

かながわ交通計画

検索

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/gd6/cnt/f7148/>

